

平成28年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学専攻

試験科目	スポーツ行動科学
------	----------

(6 枚中 その 1)

平成27年9月24日

11時00分～13時00分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学専攻

試験科目	スポーツ行動科学
------	----------

(6 枚中 その 1)

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

問題I 以下の問いに答えなさい。

- (1) 学習性無力感とは何かを説明し、運動の練習で学習性無力感が生じる過程について述べなさい。

平成28年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学専攻

試験科目	スポーツ行動科学
------	----------

(6 枚中 その 2)

平成27年9月24日

11時00分～13時00分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学専攻

試験科目	スポーツ行動科学
------	----------

(6 枚中 その 2)

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

(2) 下の図は、「運動と自尊感情モデル」(Sonstroem & Morgan, 1989) と呼ばれるものである。モデルに含まれる身体的セルフ・エフィカシー、身体的有能感、身体的受容、自尊感情の4つの用語を説明し、さらにこのモデルの特徴を述べなさい。

出典：西田 (2012) よくわかるスポーツ心理学 (中込ほか編著, ミネルヴァ書房), p. 111

平成28年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学専攻

試験科目	スポーツ行動科学
------	----------

(6 枚中 その 3)

平成27年9月24日

11時00分～13時00分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学専攻

試験科目	スポーツ行動科学
------	----------

(6 枚中 その 3)

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

(3) スポーツ選手のメンタル面のサポートに際し、選手の心理的特徴を知るために用いられる心理検査実施上の留意点について述べなさい。さらに、選手の心理的特徴を知るための心理検査を一つあげ、その検査を構成する尺度を説明しなさい。

平成28年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学専攻

試験科目	スポーツ行動科学
------	----------

(6 枚中 その 4)

平成27年9月24日

11時00分～13時00分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学専攻

試験科目	スポーツ行動科学
------	----------

(6 枚中 その 4)

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

(4) 運動における速度精度相反性について説明し、スポーツ場面での例について述べなさい。

平成28年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学専攻

試験科目	スポーツ行動科学
------	----------

(6 枚中 その 5)

平成27年9月24日

11時00分～13時00分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学専攻

試験科目	スポーツ行動科学
------	----------

(6 枚中 その 5)

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

(5) 運動制御における自動処理と制御処理について説明し、学習との関係を述べなさい。

平成28年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学専攻

試験科目	スポーツ行動科学
------	----------

(6 枚中 その 6)

平成27年9月24日

11時00分～13時00分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学専攻

試験科目	スポーツ行動科学
------	----------

(6 枚中 その 6)

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

(6) 運動制御における自由度問題から見た学習段階について説明しなさい。